

4 指針の構成と特色

4-1 指針の構成（区分・対象物の整理）

本指針では、公共建築物を全体共通、移動空間、個別空間、情報・案内、避難の5区分（図表4-2、下記参照）と雪対策（図表4-3、P11参照）の計6区分に分類するとともに、それぞれの区分ごとに具体的な対象物を設けて指針を構成している。

図表4-2 ユニバーサルデザイン指針の構成

区 分		対象物
6-1 全体共通		(1) 路面・床 (2) 視覚障害者誘導用ブロック (3) 手すり (4) 扉・出入口 (5) 各種スイッチ・コンセント (6) 光環境 (7) 備品
6-2 移動空間	1 施設まで	(1) 交通手段 (2) 周辺道路
	2 施設敷地内	(1) 共通事項 (2) 駐車場 (3) 屋外通路
	3 施設内	(1) 玄関 (2) 通路（廊下） (3) スロープ
	4 昇降スペース	(1) 共通事項 (2) 階段 (3) エレベーター (4) エスカレーター
6-3 個別空間		(1) トイレ (2) 会議室等 (3) 窓口 (4) ベビーコーナー (5) 店舗（食堂・売店等） (6) 浴室・シャワー室・脱衣室 (7) 客席・観覧席・舞台・楽屋 (8) 宿泊室 (9) その他

図表4-2 ユニバーサルデザイン指針の構成（つづき）

区 分	対象物
6-4 情報・案内	(1) 案内標示 (2) 音声案内 (3) 人的対応 (4) 情報発信
6-5 避難	(1) 警報装置 (2) 避難誘導装置 (3) 避難通路

図表4-3 雪に対応したユニバーサルデザイン指針の構成

区 分	対象物
7-1 雪対策	(1) バス・タクシー乗り場 (2) 駐車場・屋外通路 (3) 玄関・通路（廊下）

4-2 指針の特色

(1) 雪に対応したユニバーサルデザイン

全国でも有数の豪雪地帯にある当市では、冬期の雪対策は、市民ニーズの最も高い課題の一つであり、人にやさしいまちづくりを推進していく上で避けて通ることはできない。

このようなことから、本指針には「移動空間」、「個別空間」、「情報・案内」などの区分とは別に、雪に対応したユニバーサルデザイン指針として、バス・タクシー乗り場、駐車場・屋外通路、玄関・通路（廊下）における「雪対策」に関する指針を掲載している。

(2) こころのユニバーサルデザイン

ハード面を整備するだけでは、だれもが快適に施設を利用することはできない。施設利用者が、お互いのことを思いやる、譲り合う、そして助け合うという「こころのユニバーサルデザイン」が重要である。

そこで、本指針にはソフト面の対応として、施設利用者の「こころのユニバーサルデザイン」について掲載している。

(3) 周辺道路、歩道、交通手段に配慮

施設までの移動手段としては、自家用車、公共交通機関、自転車、車いす、徒歩などがあり、公共建築物のユニバーサルデザイン化を進めるには、周辺道路、歩道、交通手段等、施設までのアクセスにも配慮が必要である。

そこで施設周辺の道路、歩道、交通手段についての指針を掲載している。

(4) 基本事項と推奨事項

本指針には、整備基準としてこれがないと施設利用ができないため、必ず守る事項を「基本事項」、これがあると便利・快適に施設利用ができるので、可能な限り守る事項を「推奨事項」の2段階に分類して掲載している。

今後、市が公共建築物を新築・改築・改修する場合、基本事項を守りつつ、推奨事項についても可能な限り守るように整備を進めていくこととする。

(5) 施設管理者が対応すべきこと、事業者の協力が必要なこと、事前の検討が必要なこと

本指針には、施設管理者が施設利用者に対して配慮することを「施設管理者が対応すべきこと」、事業者の協力により快適に施設が利用できることを「事業者の協力が必要なこと」としている。

また、公共建築物の整備を計画するとき、特に事前の検討が必要な事項を「事前の検討が必要なこと」として掲載している。

(6) 共通項目の設定

本指針には、全体に共通している路面・床、視覚障害者用誘導ブロック、手すりなどを「全体共通」として掲載している。また、施設敷地内の駐車場と屋外通路に共通しているものや、駐車場、障害者駐車場、駐輪場に共通しているものなどはそれぞれ「共通事項」として掲載している。

例えば、駐車場を改修する場合、指針を利用する人にとっては駐車場の項目の中にすべての内容が掲載されている方が利用しやすい。しかし、駐車場を含め、周辺道路、屋外通路、玄関等、利用者の動線を理解した上で整備することが、公共建築物全体を利用しやすい施設として整備するには必要であり、そのために「共通事項」を設定している。

つまり、公共建築物を整備する場合も、利用者のアクセスや周辺道路などを考慮しながら計画するといったように、市全体をユニバーサルデザイン化するためには、このように関連するあらゆる事項を考慮しながら検討することが必要である。